

平成25年度第4回北海道地方独立行政法人評価委員会
試験研究部会 議事録

- 開催日 平成25年8月29日(木) 14:30 ~ 14:50
○場所 北海道庁本庁舎5階 総務部会議室
○出席者 (委員)石橋部会長、安達委員、北野委員、細川委員
(事務局)総合政策部科学IT振興局研究法人室 田中室長、寺前参事、戸田主幹ほか
- 議事 (1) 地方独立行政法人北海道立総合研究機構の第2期中期目標等策定に当たっての基本的な考え方について
(2) その他
- 資料 資料1 地方独立行政法人北海道立総合研究機構第2期中期目標等策定に当たっての基本的な考え方(案)
資料2 地方独立行政法人北海道立総合研究機構の中期目標達成状況等評価結果
参考 平成25年度北海道地方独立行政法人評価委員会試験研究部会の視察について

(事務局 寺前参事)

○開会

(石橋部会長)

●それでは、一言ご挨拶申しあげます。

先週、8月21日の第3回の試験研究部会の開催に続き、本日第4回の部会並びに評価委員会のために、委員の皆様におかれては、何かとご多忙中、お集まりいただき感謝申しあげます。

本日は、前回の部会において決定した中期目標等達成状況等の評価結果を踏まえ、道がこれから具体的に次期の中期目標等を検討する上で指針となる「第2期中期目標等策定にあたっての基本的な考え方」について、事務局から説明をいただき、評価委員会試験研究部会からの意見をまとめてまいりたい。

本日はさらに、午後3時から評価委員会も予定されており、限られた時間ではあるが、次期の中期目標の策定に向けて、活発かつ率直なご意見をいただきたく、委員の皆様のご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

(事務局 寺前参事)

○これから先の議事進行は、石橋部会長にお願いする。

議事(1) 地方独立行政法人北海道立総合研究機構の第2期中期目標等策定に当たっての基本的な考え方(案)について

(石橋部会長)

●では、議事1「第2期中期目標等策定に当たっての基本的な考え方」について、事務局から説明を受け、委員の皆様からご意見をいただきながら協議して参りたい。

本日の協議内容により、試験研究部会としての意見としたい。

それでは事務局から案について説明をお願いする。

(事務局：伊藤主査)

○資料1に基づき説明

- ・地方独立行政法人法第31条の第1項の規定の中で、「設立団体の長は地方独立行政法人の中期目標の期間の終了時において、当該地方独立法人の業務を継続させる必要性などを検討すること。」となっており、第2項において「その検討を行うに当たっては、評価委員会の意見を聴かなければならない。」と定められていることから、今回提案させていただくところ。
- ・「1. 策定の趣旨」については、先行している札幌医大と同様のまとめ。

- ・「2. 中期目標達成状況等評価（H22～H24）」については、1つめは評価について、2つめは次期中期目標等策定に向けた留意事項として評価結果から抜粋して記載。
- ・「3. 道の基本的な考え方」については、道として中期目標達成状況等評価結果を踏まえ、道総研の運営が概ね順調に進んでいるものと認識した上で、道総研による運営を継続する方向として、評価結果において示された課題や道が直面する状況等を踏まえ、次期中期目標等の検討を進めるという考えを示したものの。

（石橋部会長）

- 事務局から事前に送付いただいていた案の説明があったが、委員から質問・意見等ないか。

～委員意見等なし～

（石橋部会長）

- 特に意見がなければ、この「第2期中期目標等策定に当たっての基本的な考え方」についての評価委員会の意見は特になしとすることでよいか。

～委員同意～

（石橋部会長）

- では、議事の（1）については、そのように決定し、このあとの評価委員会に報告する。

| |
|----------|
| 議事（2）その他 |
|----------|

（石橋部会長）

- 最後に、「議事（2）その他」について、事務局から説明をお願いします。

（事務局：関上主査）

- 平成25年度の試験研究部会の現地視察案について説明、本日視察先を決定いただきたい。各研究本部については、全て昨年度で視察済み。今年度については、新たな動き、タイムリーな話題のある試験研究機関として、産業技術研究本部食品加工研究センターを視察先として提案。試験研究部会では平成21年度に視察を実施しているが、道総研においては、今年度、道の施策を反映し、食品加工研究センターに「食関連研究推進室」を新設、食品関連分野の機能強化を図り、取組を展開中。道総研設立前後での研究の進め方や職員の意識等の変化や戦略研究等フード特区との関連も含めた意見交換が可能と考えるもの。視察内容については、例年どおり提案。ご意見等あればいただきたい。

（石橋部会長）

- 今年度の部会の視察案の説明があったが、確かに21年度に視察をしたところ。食、フード特区との関連等で食品加工研究センターを提案ということだが、何かご意見等ないか。安達委員いかがか。

（安達委員）

- 実は函館の水産試験場を見学したいと思っていたが、移転の動きもあるということなので、移転後に、来年、是非視察したい。今年はこの案で結構。

（石橋部会長）

- 細川委員はいかがか。

（細川委員）

- 是非、この案で。

(石橋部会長)

- 北野委員もよろしいか。

(北野委員)

- この案で結構。

(石橋部会長)

- では、今年度の視察先については、食品加工研究センターとすることで決定し、後日事務局で日程調整をしていただく。
- これで、本日の議事は終了したが、委員の皆さん何かご発言等はないか。

～委員発言等なし～

(石橋部会長)

- では、これをもって試験研究部会を終了する。

(事務局：田中室長)

- 石橋部会長、委員の皆様、本日も熱心にご審議いただき感謝。
年度評価、中期目標等達成状況等評価を含め、評価委員会からいただいたご意見等を真摯に受け止め、これからいよいよ道の各部や道総研と協議しながら次期中期目標の策定に入っていきたいと思うので、今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。
北海道を代表する研究機関として754人の研究者を擁する道総研に対し、種々皆様のご指導の中でさらに飛躍ができるよう、我々も取り組んでいくので、引き続き、協力をいただきたい。
本日はありがとうございました。